読書の小径

Vol.170

土岐市図書館
☎(55)1253

新刊案内

げんきにおでかけ

五味太郎／さく・え

夢金古典落語「夢金」より

立川談春／ぶん　寺門孝之／え

粋な人、無粋な人　銀座のママが教える　自分では気づかない恥ずかしいこと ---------- 伊藤由美
日本城郭史 ---------- 齋藤慎一、向井一雄
信濃中世武家伝　信濃武士の家紋と興亡 -- 田中豊茂
お母さん、その服なんとかしよ！毒舌ムスメのファッションチェック ---------- あっこたん
マンガでわかる！かならず伝わる説明の技術 -- 鶴野充茂
学校では教えてくれないゆかいな日本語 -- 今野真二
子どもの身長ぐんぐんメソッド　背を伸ばすために今すぐやれること　小児科医と管理栄養士がアドバイス -- 主婦の友社
最高の山ごはん　歩いて作って食べた話と料理 ---------- ホシガラス山岳会

「やきもの」

今月の初めに「土岐美濃焼まつり」「定林寺まつり窯元巡り」など市内で４つの陶器まつりが開催されました。お気に入りの一品を買い求めたり、窯元を巡ったりなどして、楽しまれた方も多いと思います。今回は、そんな地場産業として親しみの深い「やきもの」に関する本を紹介します。

阿部出版『美濃の陶芸家たち１０９人の作家と６つの窯元』。美濃焼の歴史や、岐阜県を活動の拠点にしている陶芸作家と窯元が紹介されています。また、作家本人による作品解説もあり、作品に込められた思いも同時に鑑賞することが出来ます。

和田和也『焼き物質問箱陶芸技法から文化的背景まで広く答えるＱ＆Ａ２５０』。「最初の陶芸家って誰？」「ウェッジウッドの創始者ってどんな人？」「鍋料理のときについてくる取っ手のある小鉢の名前は？」歴史的なことや技法に関することなど、２５０もの疑問と回答が載っています。最初の３つの質問の答えは、本を読んでのお楽しみ。ぜひご一読ください。

佐々木秀憲『すぐわかる産地別やきものの見わけ方　改訂版』。日本の主要な23の産地と海外の有名13のやきものブランドの概要や魅力の紹介などが１頁から４頁でコンパクトにまとめられています。さらに窯や釉薬、器の各部の名称なども説明されており、やきものの入門書としてお薦めの一冊です。

６月の休館日

５日(月)、12日(月)、19日(月)、23日(金)、26日(月)

開館時間

火～金曜日　午前10時～午後７時
土・日曜日、祝日　午前10時～午後５時

お知らせ

毎週木曜日は郷土史家が調べもののお手伝いをします。地元に関する知りたい事や気になっている事などがありましたら、３階事務所まで気軽にお尋ねください。皆さんのご相談をお待ちしています。